

北
7

昭和二十一年三月六日

理事官

大臣

秘書課長

總務課長

次官

社會局長

伺

引揚援護院事務分掌規程制定、件

引揚援護院官制第四條、規定、依此標記、件別案、通制定

相成可然哉

仰高裁

訓令案

厚生省訓第九八號

引揚援護院事務分掌規程 厚生部為一般
引揚援護院
左ノ通定ム

昭和二十一年三月十五日

大臣

引揚援護院事務分掌規程

第一條 援護局ニ於テハ人事、文書、會計、引揚者ノ援護ニ

關スル事務(醫務局ノ所管ニ屬スル事務ヲ除ク)ヲ掌ル

第二條 醫務局ニ於テハ引揚者、醫治療並ニ檢疫ニ關スル事務ヲ

掌ル

内地以外ノ地域ヨリ内地ニ引揚テタル者及内地ヨリ内地以外ノ地域ニ引揚テタル者ハ内地ヨリ内地ノ外ノ地域ニ引揚テタル者

内地以外ノ地域ヨリ内地ニ引揚テタル者及内地ヨリ内地以外ノ地域ニ引揚テタル者ハ内地ヨリ内地ノ外ノ地域ニ引揚テタル者



勅令第 號

第一條 引揚援護院ハ厚生大臣ノ管理ニ屬シ今次ノ戦争ノ終結ニ依リ内地(樺太、沖繩及千島ヲ除ク以下同ジ)以外ノ地域ヨリ内地ヘ引揚ゲタル者及内地ヨリ内地以外ノ地域ニ引揚ガル者(以下引揚者ト稱ス)ノ應急援護及檢疫ニ關スル事務ヲ掌ル

第三條 引揚援護院ニ左ノ職員ヲ置ク

- 長官 勅任
- 次長 勅任
- 局長 二人 勅任
- 地方引揚援護局長 二人 委任
- 地方引揚援護局次長 二人 委任
- 援護官 二人 委任
- 技師 二人 委任
- 援護官補 二人 委任

地方引揚援護局長 專任十一人 委任
 地方引揚援護局次長 專任百八十八人 委任
 援護官 專任二百十五人 委任
 技師 專任三百九十二人 委任
 援護官補 專任三百六十四人 委任
 援護局長ハ次長ヲシテ之ヲ兼テシム
 第三條 前條ノ職員ノ外地方引揚援護局ノ事務ニ從事セシムル急務ノ厚生大臣ハ關係各廳高等官ノ中ヨリ援護官ヲ、關係各廳判任官ノ中ヨリ

援護官補ヲ命スルコトヲ得

第四條 引揚援護院ニ援護局及醫務局ヲ置ク

各局ノ事務ノ分掌ハ厚生大臣之ヲ定ム

第五條 厚生大臣ハ院務ノ一部ヲ分掌セシムル急務地方引揚援護局ヲ設

クルコトヲ得其ノ名稱及位置ハ厚生大臣之ヲ定ム

第六條 地方引揚援護局長ハ當該地方引揚援護局ヲ置ク地ヲ管轄スル

地方長官ヲ以テ之ニ充ツ

第七條 地方引揚援護局ハ其ノ事務ヲ行フニ付必要アルトキハ當該地

方ニ於ケル關係各廳ニ對シ共助ヲ求ムルコトヲ得

第八條 引揚援護院ニ參與ニ十人以上以外ヲ置キ院務ニ參與セシム

參與ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之

ヲ命ス

參與ノ任期ハ一年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ

解任スルコトヲ妨ゲズ

第九條 長官ハ厚生大臣ノ指揮監督ヲ承ケ院務ヲ統理シ部下ノ職員ヲ

指揮監督シ判任官以下ノ進退ヲ專行ス

第十條 次長ハ長官ヲ佐ケ長官事故アルトキハ其ノ代理ニ充テ

第十一條 局長ハ二官ノ命ヲ承ケ

健康保険法施行令

昭和二十年勅令第五百四十六號

第二十四條 本令施行ノ際現ニ地方引揚援護局^{職員}職ニ在ル者別ニ辭令

ヲ發セラレザルトキハ地方引揚援護局長ニ、

厚生書記官、厚生事務官及厚生理事官ハ引揚援護院援護官ニ、厚

生技師及厚生省防疫官ハ引揚援護院技師ニ、厚生屬ハ引揚援護院援

護官補ニ、厚生技師ハ引揚援護院技師補ニ同官等俸給ヲ以テ任セラ

レタルモノトス

前項ノ規定ハ文官任用ノ資格ニ關スル規定ノ適用ヲ妨グズ

裏面白紙

裏面白紙

引揚援護院事務分掌規程

第一條 援護院局ニ於テハ人事、文書、會計及他ノ主務

ニ屬セサル事務並ニ内地以外ノ地域ヨリ内地ニ引揚ケタル
者及内地ヨリ内地以外ノ地域ニ引揚ケル者ノ援護ニ關スル
事務（醫務局ノ所管ニ屬スル事務ヲ除ク）ヲ掌ル

第二條 醫務局ニ於テハ内地以外ノ地域ヨリ内地ニ引揚ケ
タル者及内地ヨリ内地以外ノ地域ニ引揚ケル者ノ醫療
並ニ檢疫ニ關スル事務ヲ掌ル

厚生省訓令第九八號

學生部内一級

引揚援護院事務分掌規程左ノ通定ム

昭和二十一年三月十三日

厚生大臣 芦田 均

引揚援護院事務分掌規程

第一條 援護局ニ於テハ人事、文書、會計及他ノ主管ニ屬セザル事務並ニ内地以外ノ地域ヨリ内地ニ引揚ケタル者及内地ヨリ内地以外ノ地域ニ引揚ケル者ノ援護ニ關スル事務（醫務局ノ所管ニ屬スル事務ヲ除ク）ヲ掌ル

第二條 醫務局ニ於テハ内地以外ノ地域ヨリ内地ニ引揚ゲタル者及内地ヨリ内地以外ノ地域ニ引揚ケル者ノ醫療並ニ檢疫ニ關スル事務ヲ掌ル

裏面白紙